

県民栄養調査からみた 鳥取県民の栄養

鳥取短期大学 生活学科食物栄養専攻
教授 野津 あきこ

鳥取県福祉保健部健康政策課

背景

県民の健康状態や生活習慣について把握し、生活習慣病予防対策を推進するための基礎資料

県民栄養調査の実施

平成11年

平成17年

平成22年

昭和56年から
5～6年に1度

調査内容(平成22年)

- 1 栄養摂取状況調査(秤量記録法)
- 2 身体状況調査(身体計測、問診)
- 3 健康づくり意識調査(自記式アンケート)

「健康づくり文化創造プラン」「食のみやことっとり～食育プラン～」などの健康施策の指標として活用

調査時期

平成22年11月

対象者

国勢調査の調査区をもとに無作為抽出。489世帯のうち協力の得られた308世帯917名が対象。以下の表は、20歳以上の解析対象者の人数

男性

(人)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
栄養摂取状況調査	335	34	40	55	64	70	44	28
身体状況調査	232	15	25	38	45	55	34	20
歩行数	321	29	38	55	68	72	39	20

女性

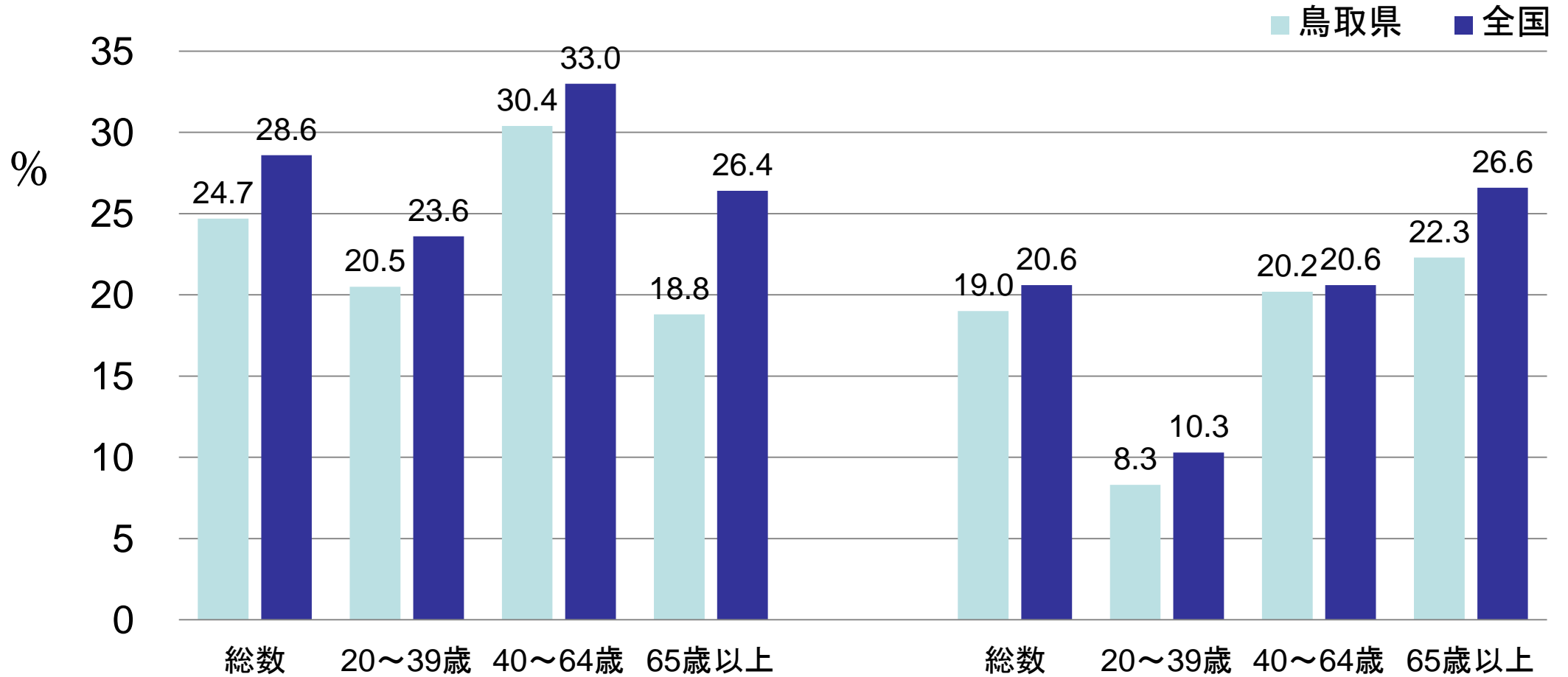
(人)

	総数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
栄養摂取状況調査	373	31	38	52	64	75	65	48
身体状況調査	279	19	29	36	45	62	51	37
歩行数	374	28	39	56	67	74	66	44

BMIによる肥満の状況

男性肥満者の割合

女性肥満者の割合



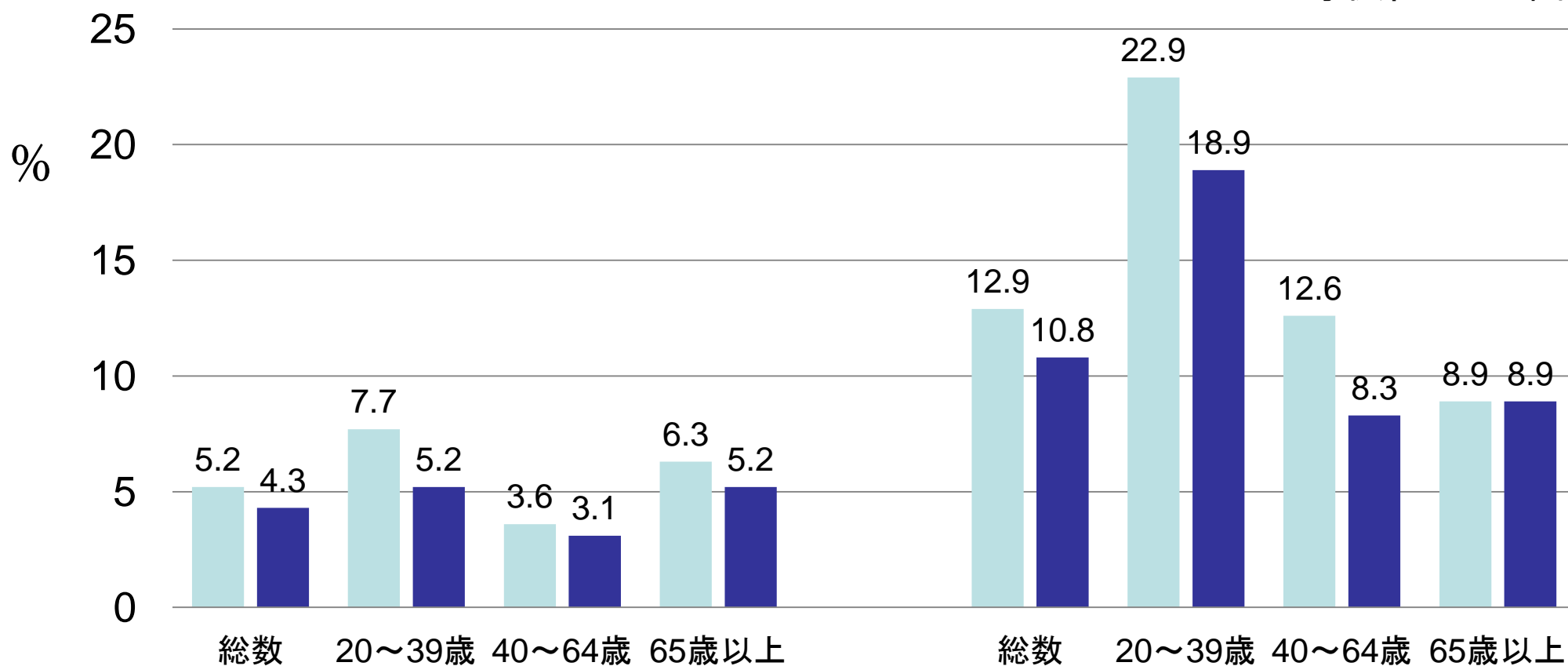
平成22年調査

BMIによる低体重の状況

男性の低体重の割合

女性の低体重の割合

■ 鳥取県 ■ 全国

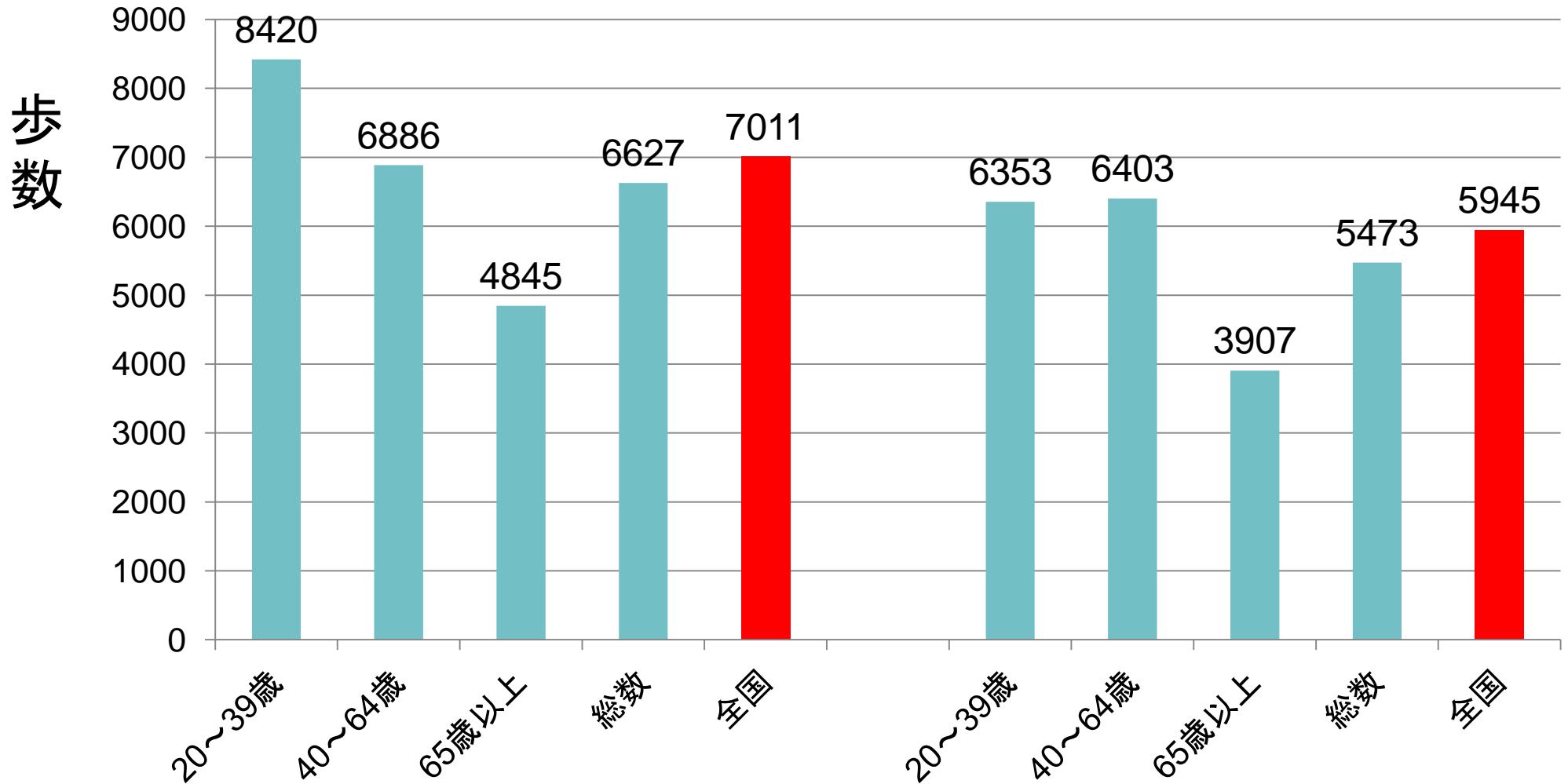


平成22年調査

1日の歩行数(20歳以上)

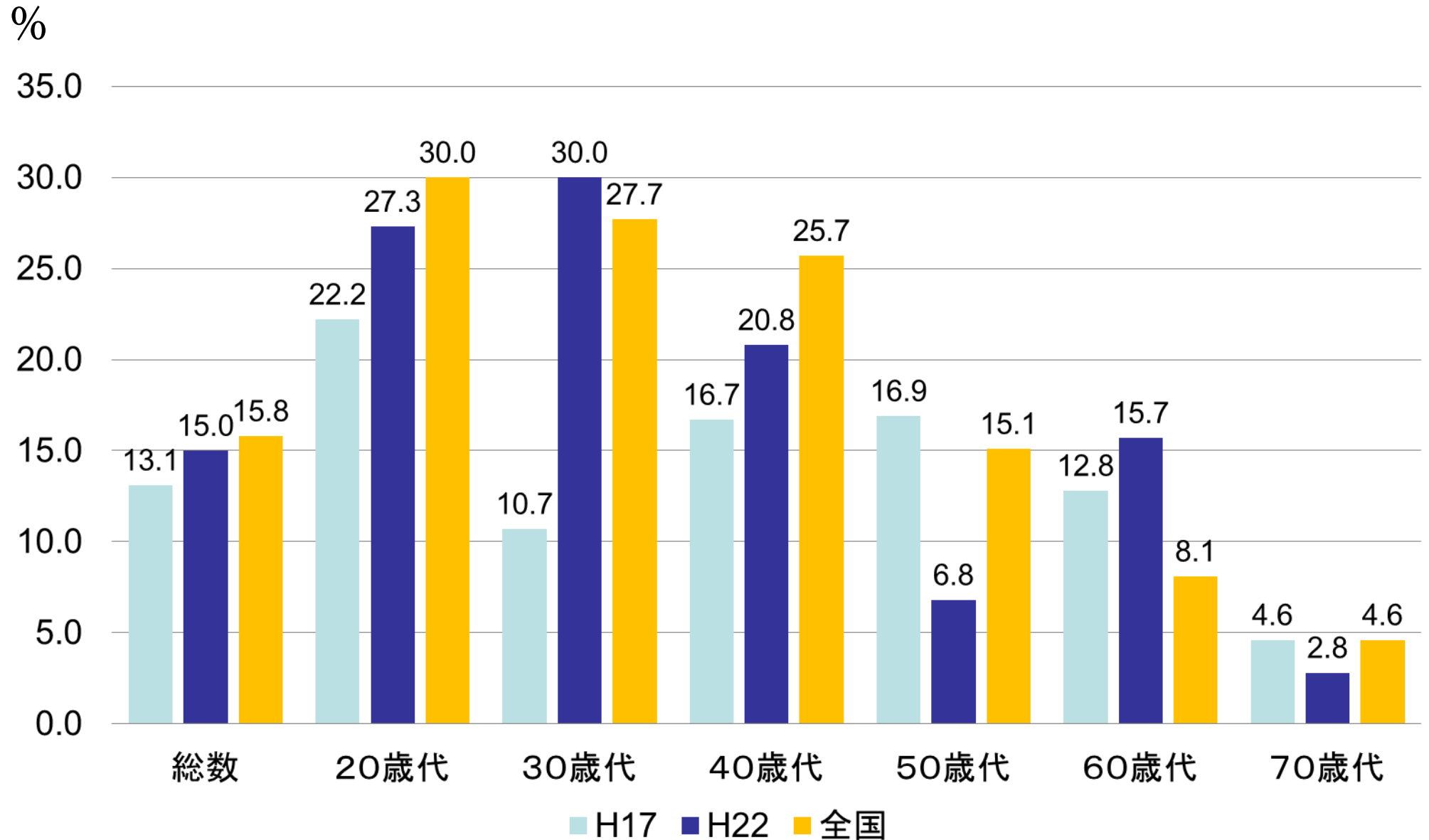
男性

女性

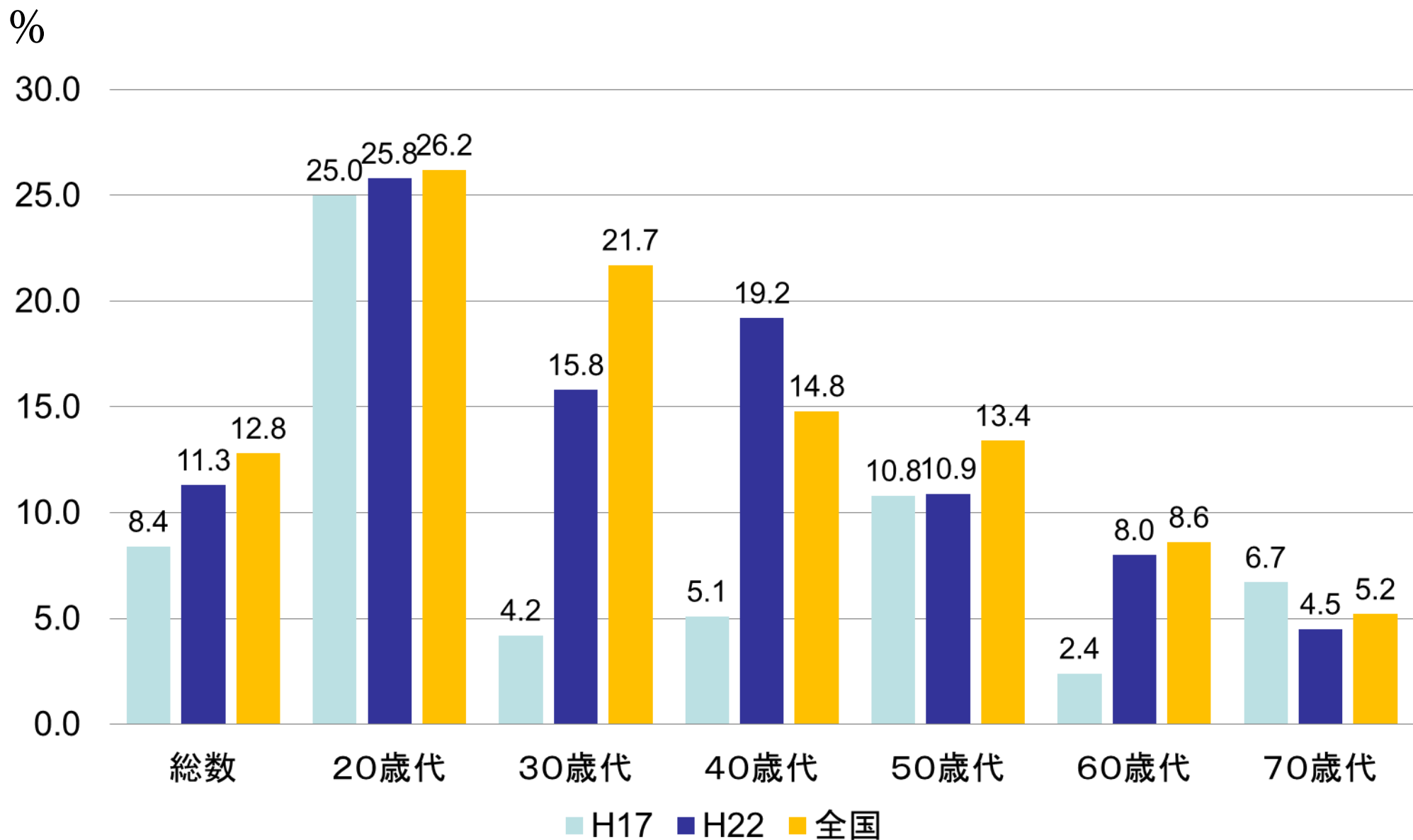


平成22年調査

朝食の欠食率（男性：年齢階級別）



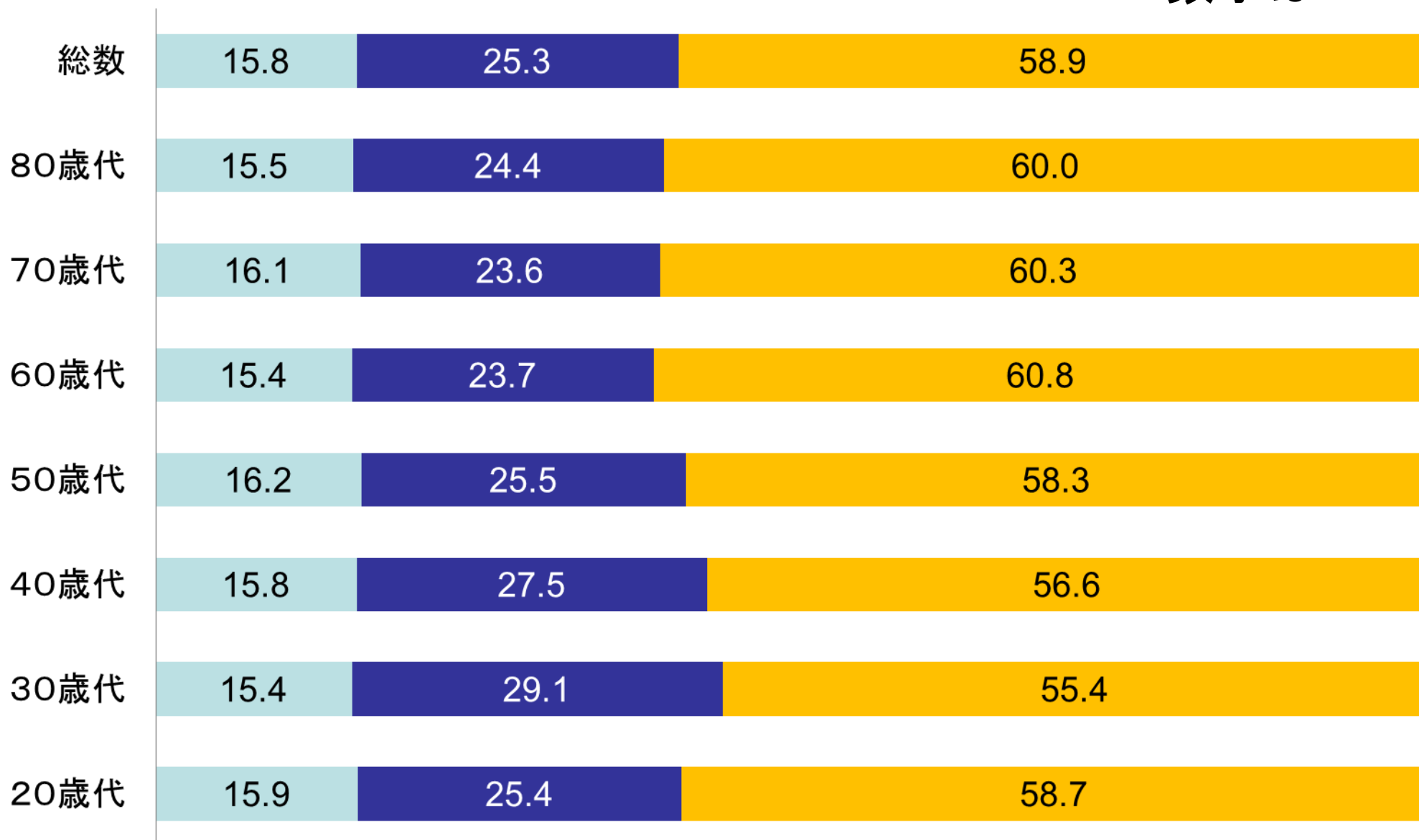
朝食の欠食率(女性:年齢階級別)



エネルギー比率(男性:年齢階級別)

たんぱく質 脂質 炭水化物

数字は%

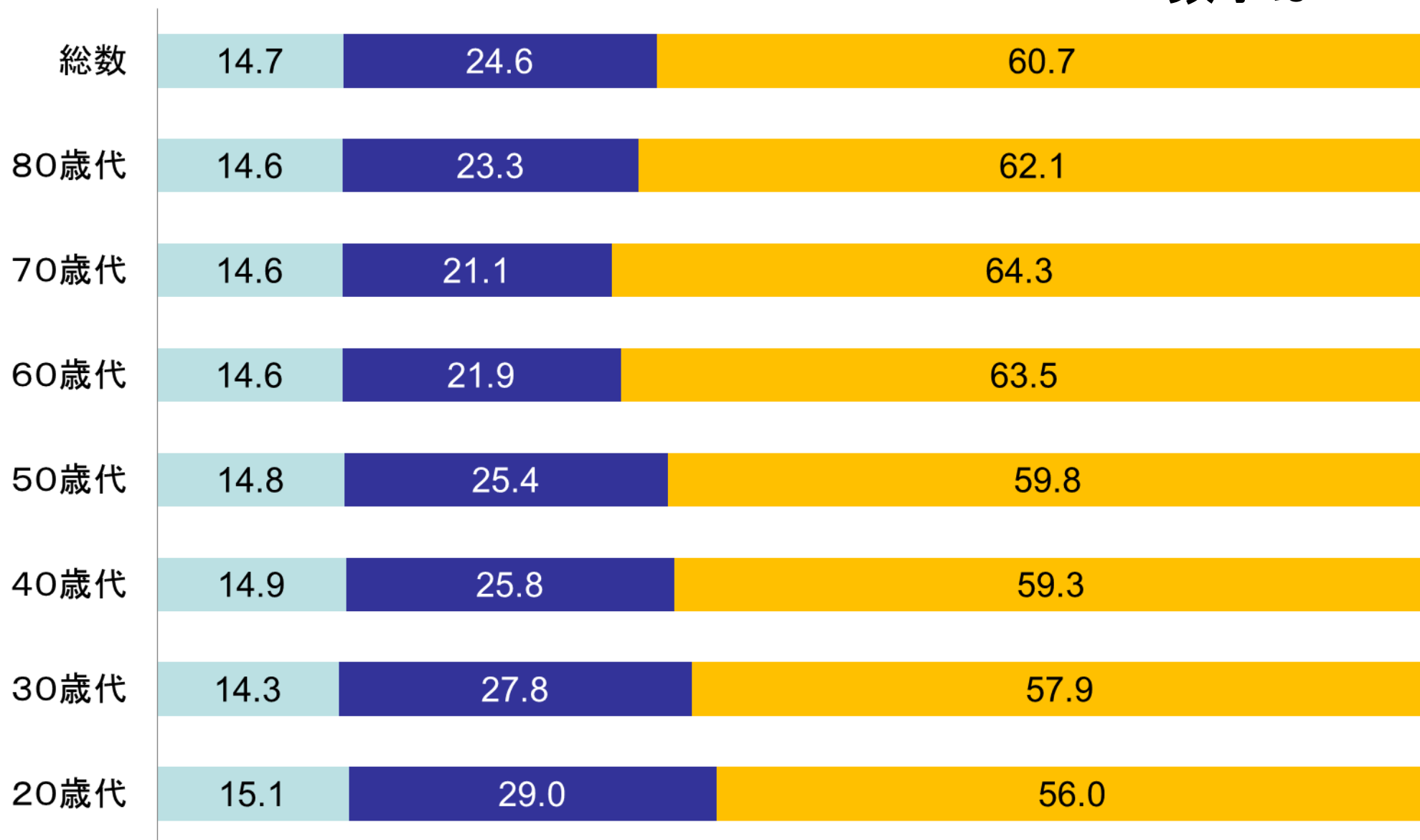


平成22年調査

エネルギー比率(女性:年齢階級別)

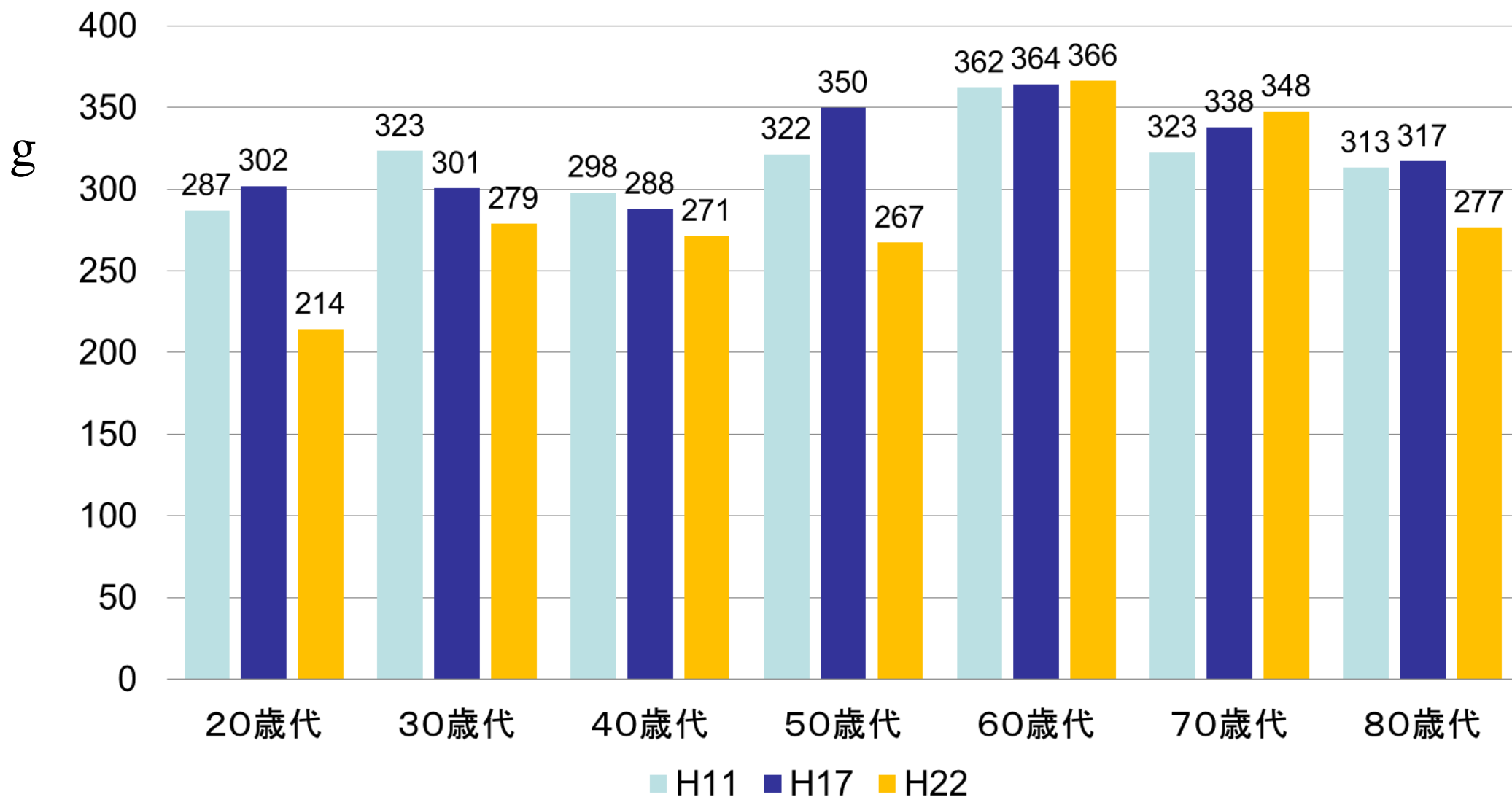
たんぱく質 脂質 炭水化物

数字は%

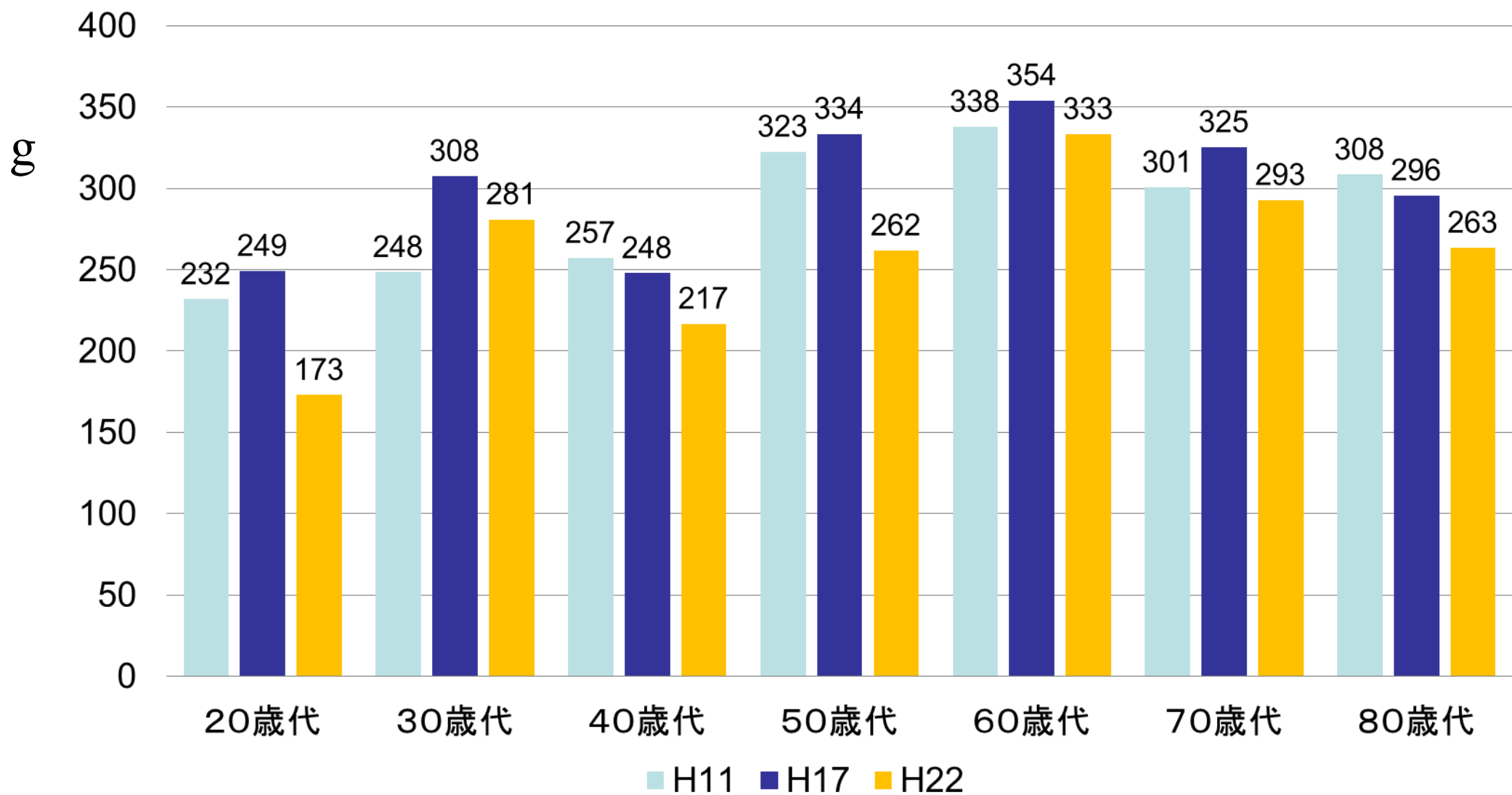


平成22年調査

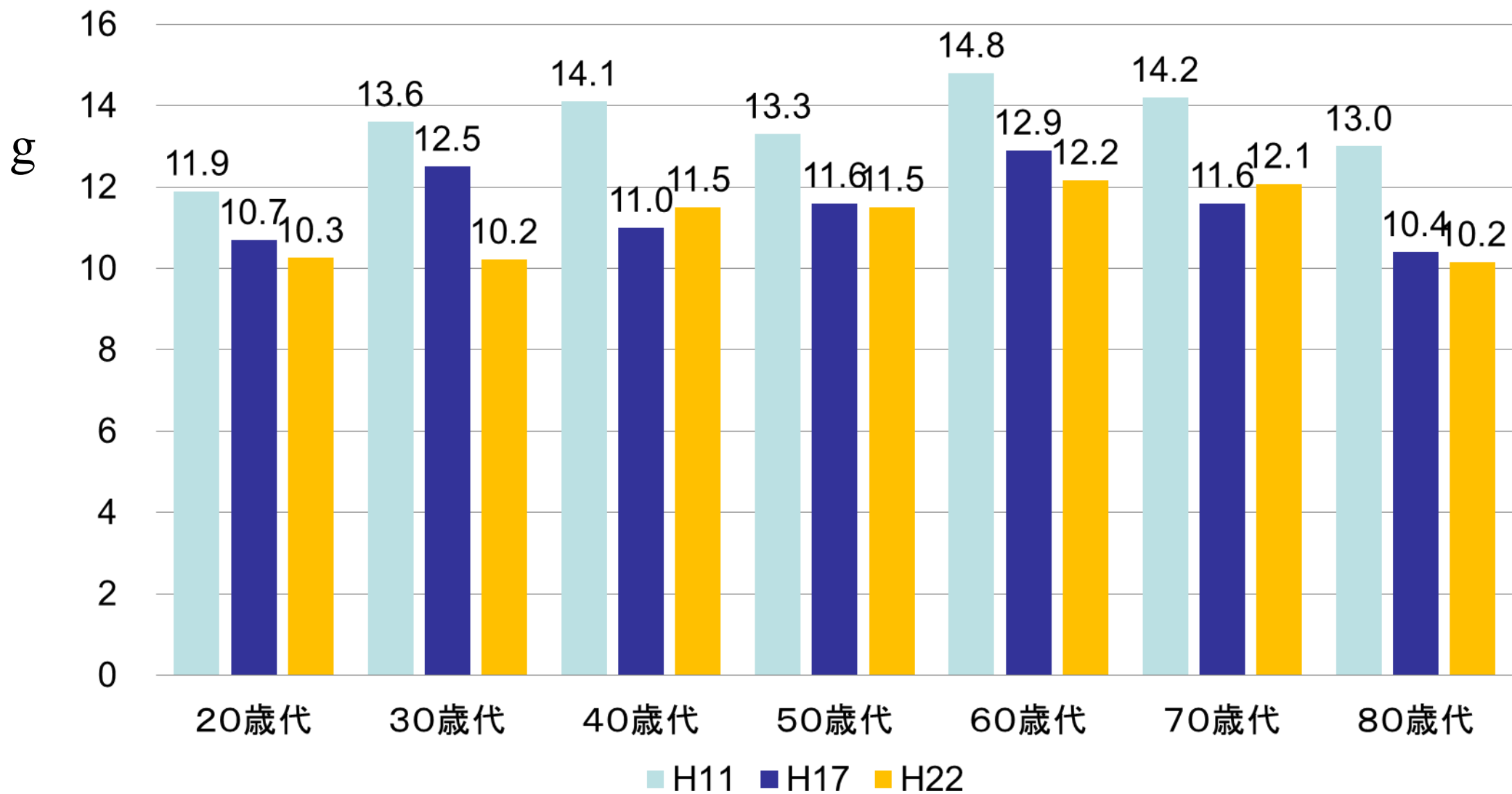
野菜摂取量(男性:年齢階級別)



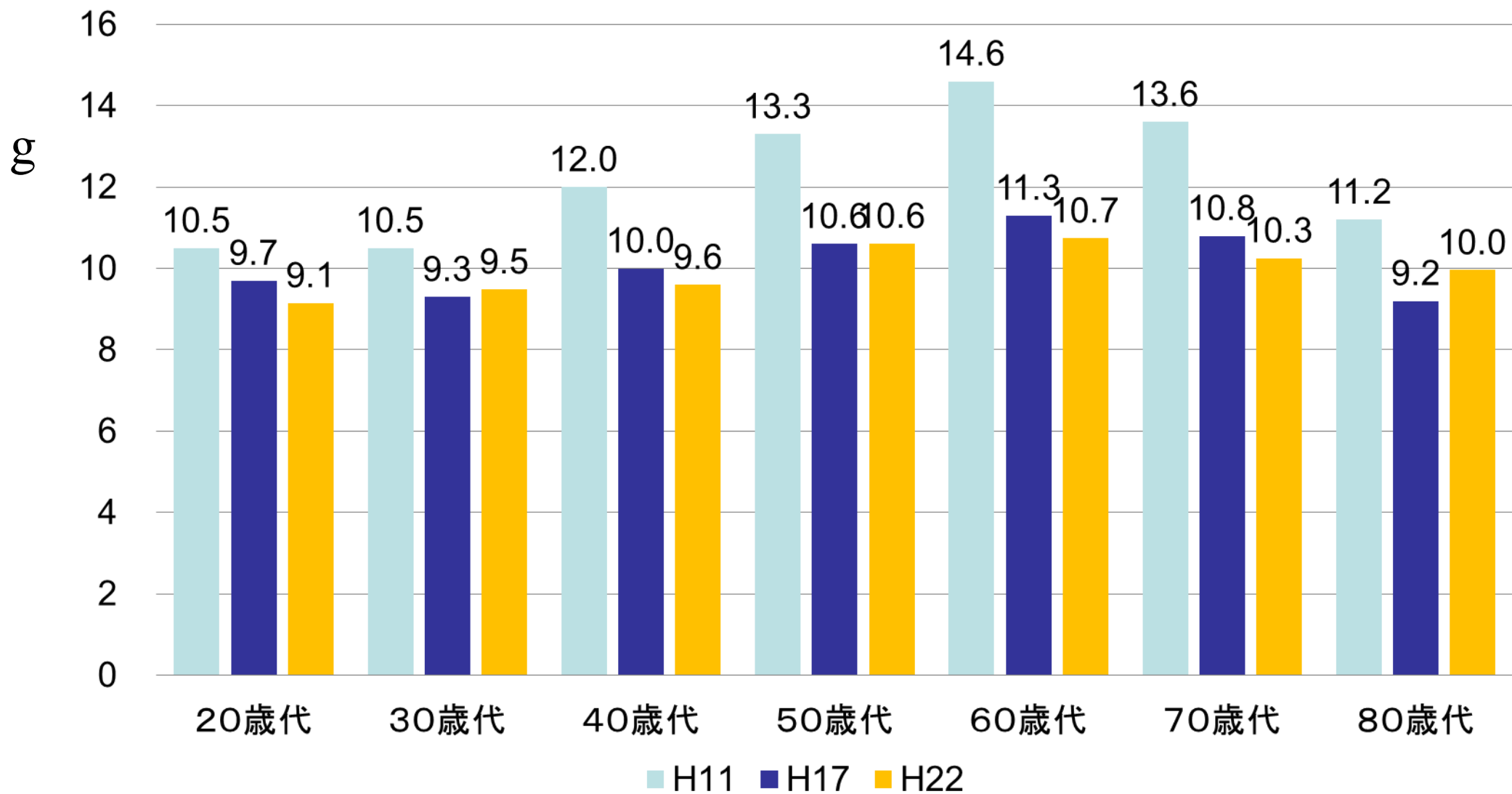
野菜摂取量(女性:年齢階級別)



食塩摂取量(男性:年齢階級別)



食塩摂取量(女性:年齢階級別)



まとめ

- 肥満者の割合は、全国平均と比べるとやや低い。40歳から64歳までの男性の30.4%が肥満である。低体重は全国平均と比べると多く、20から39歳女性の低体重の比率が高い
- 朝食の欠食率は全国平均より低かったが、鳥取県の前回調査より増加していた
- 歩行数は全国平均よりも低い
- 野菜摂取量は減少傾向にあり、不足している
- 食塩摂取量は減少傾向であるが、男性10g未満、女性8g未満の目標値には到達していない

調査の限界

- 1日間の食事記録調査であり、個人の習慣的な摂取量や摂取量の分布の推定が困難である
- 性別・年齢階級別に解析するとサンプルサイズが小さい
- 食事調査には過大評価、過小評価があることが報告されている
 - 年齢が若く、BMIが高い人ほど過小申告しやすい傾向がある
 - 高齢になるに従い、過大申告しやすい傾向がある

問い合わせ先

鳥取短期大学 生活学科食物栄養専攻

教授 野津あきこ

TEL : 0858-26-1811

FAX : 0858-26-1813

e-mail : akknt@ns.cygnus.ac.jp

鳥取短期大学 地域交流センター

柴田 章子

TEL : 0858-26-9138

FAX : 0858-26-9138

e-mail : chiiki@ns.cygnus.ac.jp